

## 平成20年2月期 第3四半期財務・業績の概況

平成20年1月8日

上場会社名 株式会社 ローソン 上場取引所 東証・大証第一部  
 コード番号 2651 URL <http://www.lawson.co.jp/company/ir/index.html>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 CEO (氏名) 新浪 剛  
 問合せ先責任者 (役職名) 財務経理ステーション (氏名) 高西 朋貴 TEL (03)5435-2773  
 シニアリーダー

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成20年2月期第3四半期の連結業績 (平成19年3月1日 ~ 平成19年11月30日)

#### (1) 連結経営成績 (%表示は対前年同四半期増減率)

	営業総収入		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
20年2月期第3四半期	228,132	6.9	37,910	6.9	37,818	6.1	18,851	7.4
19年2月期第3四半期	213,492	5.1	35,448	△1.9	35,637	△1.0	17,545	△4.2
19年2月期	283,053	5.6	44,513	1.5	44,646	1.6	20,983	△4.7

	1株当たり四半期(当期)純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益	
	円	銭	円	銭
20年2月期第3四半期	180	51	180	42
19年2月期第3四半期	168	63	168	60
19年2月期	201	50	201	40

#### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	円	銭	
20年2月期第3四半期	402,049	206,301	206,301	206,301	50.5	1,943	70	
19年2月期第3四半期	400,358	196,062	196,062	196,062	47.9	1,836	67	
19年2月期	398,258	199,493	199,493	199,493	49.0	1,868	91	

#### (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー		投資活動によるキャッシュ・フロー		財務活動によるキャッシュ・フロー		現金及び現金同等物期末残高	
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円
20年2月期第3四半期	37,237	△26,386	△26,386	△26,386	△10,973	△10,973	75,425	75,425
19年2月期第3四半期	44,336	△33,431	△33,431	△33,431	△837	△837	70,508	70,508
19年2月期	47,596	△31,754	△31,754	△31,754	△736	△736	75,547	75,547

2. 平成20年2月期の連結業績予想 (平成19年3月1日 ~ 平成20年2月29日)

業績予想の修正は行っていません。

3. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
 (2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有  
 (3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 有

(注) 詳細は、5ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

[参 考 資 料]

平成20年2月期 個別第3四半期財務・業績の概況 (平成19年3月1日~平成19年11月30日)

(1) 経営成績 (個別) の進捗状況 (%表示は対前年同四半期増減率)

	営業総収入 (チェーン全店売上高)				営業利益		経常利益	
	百万円		%		百万円	%	百万円	%
20年2月期第3四半期	204,823	(1,064,102)	5.8	(1.7)	36,864	4.7	36,976	4.1
19年2月期第3四半期	193,679	(1,046,027)	2.8	(0.8)	35,199	△1.5	35,507	△0.1
19年2月期	256,023	(1,377,842)	3.2	(1.3)	44,373	1.3	44,526	2.0

	四半期 (当期) 純利益		1株当たり四半期 (当期) 純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期) 純利益	
	百万円	%	円	銭	円	銭
20年2月期第3四半期	17,461	△4.7	167	21	167	11
19年2月期第3四半期	18,330	△2.0	176	17	176	14
19年2月期	21,733	△4.3	208	70	208	60

(2) 財政状態 (個別) の変動状況

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産	
	百万円	百万円	%	円	銭
20年2月期第3四半期	392,656	206,786	52.6	1,978	62
19年2月期第3四半期	393,139	196,882	50.1	1,885	41
19年2月期	389,109	200,257	51.4	1,917	18

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期（平成19年9月1日～平成19年11月30日までの3ヶ月間）におけるわが国経済は、財貨・サービスの純輸出、民間企業設備投資、民間最終消費支出がプラスに寄与し、平成19年7～9月のGDPが実質・名目ともプラスとなり、景気は回復傾向にあります。一方、個人消費に目を向けるとおおむね横ばいとなっており、回復の兆しは見られません。

また、地域毎の経済動向は異なり、全国一律の指標では計れない状況が依然として続いています。コンビニエンスストア業界全体を見ても、関東、中部は好調である一方、その他の地域では不振が続いております。

そのような状況の中で当社グループは「マチのほっとステーション」の実現に向け、「3つの徹底」すなわち、「マチ（地域）のお客さまに喜んでいただける品揃え」「お店とマチをきれいにする」「心のこもった接客」の推進によるお客さま満足の上昇に取り組んでまいりました。

（コンビニエンスストア事業）

商品戦略につきましては、具材感や味・調理法にこだわったこだわり弁当シリーズ『具材屋』や5周年を迎えた『おにぎり屋』から「新潟コシヒカリおにぎり伊達の銀鮭」を発売し、お客さまにご好評を頂きました。さらに11月には“手軽なお寿司をもっとおいしく”をコンセプトに寿司の新ブランド『海苔巻次郎商店』の展開を開始し、さらなる商品力強化を図ってまいりました。

商品力向上に加えて、対象商品の購入により景品をプレゼントするという『ワンピースお宝プレゼント』『秋のリラクマフェア』を展開し、新たなお客様獲得を目指しました。さらにポイントカード会員を対象としたボーナスポイントキャンペーンを展開し、固定客作りに邁進しました。

店舗運営につきましては、客層拡大による客数アップを目的として、店舗のある「マチ（地域）」のお客さまに合った品揃えの実現を目指し、“個店カルテ（個店経営情報分析）”の活用徹底に努めてまいりました。また、店舗における発注精度の向上を目標に、店舗での仮説発注をサポートするスーパーバイザー（店舗指導員）による店舗活動支援を強化してまいりました。

これらの活動にもかかわらず、当第3四半期の既存店客数は競合環境の激化もあり、前年実績を下回りました。客単価につきましては、高価格帯商品（新潟コシヒカリおにぎりシリーズ等）がお客さまにご好評を頂き、前年とほぼ同様の実績となりました。以上の結果、当第3四半期の既存店売上高は前年同期比99.1%という結果になりました。

店舗開発につきましては、平成19年11月末現在、基幹フォーマットである「ローソン」が8,411店舗に達したほか、客層拡大を目指した健康志向フォーマット「ナチュラルローソン」は93店舗、シニア・主婦をターゲットとした「ミニスーパー+コンビニエンスストア」というコンセプトで生鮮品の取り扱いに特徴を持つ「ローソンストア100」は72店舗となりました。なお、マチのお客さまに合わせた店舗作りを強化し、シニアや女性を中心とした客層拡大を目指すため、基幹フォーマット「ローソン」に商品面や店舗レイアウト面で新たなコンセプトを導入した「ローソンプラス」を立地・客層に合わせて本格展開を開始しております。（「ローソンプラス」の店舗数につきましては、「ローソン」店舗数の8,411店舗に含んでおります。）

なお、平成19年10月10日に開催の取締役会において、ナチュラルローソン事業を当社に吸収することに伴い、連結子会社である株式会社ナチュラルローソンを清算することを決議いたしました。今後は更なる成長を目指し、ローソン本体に吸収しブランド力のアップと業務の効率化を目指してまいります。

（その他の事業）

当社グループには、コンビニエンスストア事業以外にチケット販売事業、電子商取引事業、金融サービス関連事業、コンサルティング事業、外食事業があります。

チケット販売事業を営む株式会社ローソンチケットは、主力のコンサートチケット販売及び演劇やスポーツ関連のチケット販売が好調であったため、前年に比べ取扱高は増加しました。しかし、販売費及び一般管理費の増加により営業利益は前年割れとなりました。

電子商取引事業を営む株式会社アイ・コンビニエンスは、携帯電話の公式サイト「ローソンモバイル」による、物販・サービス・情報の提供が好調で、売上高・営業利益ともに好調に推移いたしました。

金融サービス関連事業を営む株式会社ローソン・エイティエム・ネットワークスは、大手銀行の手数料廃止や新規の提携銀行との取り組み開始等により、取扱件数が増加した結果、取扱高及び営業利益は好調に推移しました。平成19年11月末におけるATMの全国設置台数は5,608台となりました。

コンサルティング事業を営む株式会社ベストプラクティスは、実態調査に基づく、ローソン店舗の改善に係る助言及び提案を行ってまいりました。調査実施店舗数が増加したことにより営業利益は前年に比べ増加いたしました。

【商品群別売上状況 (チェーン全店)】

商品群別	前第3四半期 (平18. 3. 1~18. 11. 30)		当第3四半期 (平19. 3. 1~19. 11. 30)		前年 同期比
	売上高	構成比率	売上高	構成比率	
	百万円	%	百万円	%	%
加工食品	535,944	50.9	552,640	51.5	103.1
ファストフード	247,769	23.6	249,465	23.2	100.7
日配食品	119,439	11.4	124,180	11.6	104.0
非食品	148,887	14.1	147,127	13.7	98.8
合計	1,052,039	100.0	1,073,412	100.0	102.0

(注)上記には、ナチュラルローソン及びローソンストア100の売上高を含んでおります。

【店舗開発の状況】

地域別店舗分布状況 (平成19年11月30日現在)

地域別	店舗数	地域別	店舗数	地域別	店舗数	地域別	店舗数	地域別	店舗数
北海道	498	埼玉県	343	岐阜県	102	鳥取県	85	佐賀県	62
青森県	156	千葉県	287	静岡県	146	島根県	77	長崎県	82
岩手県	167	東京都	892	愛知県	329	岡山県	122	熊本県	92
宮城県	159	神奈川県	487	三重県	83	広島県	126	大分県	117
秋田県	139	新潟県	103	滋賀県	125	山口県	113	宮崎県	84
山形県	55	富山県	103	京都府	192	徳島県	107	鹿児島県	109
福島県	96	石川県	74	大阪府	824	香川県	99	沖縄県	135
茨城県	106	福井県	87	兵庫県	480	愛媛県	155	合計	8,576
栃木県	105	山梨県	63	奈良県	105	高知県	62	参考：上海市	284
群馬県	70	長野県	140	和歌山県	114	福岡県	319		

(注)1.上記には、ナチュラルローソンの93店舗、ローソンストア100の72店舗を含んでおります。

2.持分法適用関連会社である上海華聯羅森有限公司については、同社の第3四半期決算日(平成19年9月30日)現在の店舗数を記載しております。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期の財政状態は、前連結会計年度末と比べ総資産は37億9千1百万円増加し、純資産は68億8百万円増加しました。この結果、自己資本比率は50.5%となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成19年10月10日に発表しました業績予想に変更はありません。

なお、業績予想は現時点で入手された情報に基づき判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。従いまして、実際の業績はさまざまな要因により上記の業績予想とは異なることがあります。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

期中における重要な子会社の異動はありません。

（ご参考）

平成19年12月25日開催の取締役会において、株式会社九九プラス（ジャスダック上場：コード番号3338）が実施する第三者割当増資の引受を決議いたしました。

第三者割当増資の内容

① 第三者割当増資引受の内容

i 引受価格	1株につき	65,000円
ii 引受株式数	普通株式	20,500株
iii 引受総額		1,332,500,000円

② 取得株式数、取得価額および取得前後の所有株式の状況

i 異動前の所有株式数	39,988株	（所有割合25.6%）
ii 取得株式数	20,500株	（取得価額1,332,500,000円）
iii 異動後の所有株式数	60,488株	（所有割合34.2%）

なお、異動前の所有株式数には平成19年12月28日に株式会社キョウデンより取得した7,500株（所有割合4.8%）を含んでおります。

(2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用

税金費用の計算等については、一部簡便的な方法を採用しております。

(3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更

当連結会計年度より、法人税法の改正に伴い、平成19年4月1日以降に取得した有形固定資産（建物を除く）の減価償却につきましては、改正後の法人税法に基づく方法に変更しております。

なお、法人税法の改正により、当第3四半期の営業利益、経常利益及び税金等調整前第3四半期純利益がそれぞれ175百万円減少しております。

5. 四半期連結財務諸表

(1) 第3四半期 連結貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	前第3四半期 連結会計期間 (平成18年11月30日現在)		当第3四半期 連結会計期間 (平成19年11月30日現在)		前連結会計年度の 要約連結貸借対照表 (平成19年2月28日現在)	
	金 額	構成比	金 額	構成比	金 額	構成比
(資産の部)		%		%		%
流動資産						
現金及び預金	70,009		63,335		71,950	
加盟店貸勘定	13,338		14,010		11,710	
有価証券	29,383		25,978		19,592	
たな卸資産	1,936		2,026		1,788	
未収入金	19,190		20,449		26,002	
繰延税金資産	3,265		3,410		2,795	
その他	15,291		16,706		15,297	
貸倒引当金	△86		△109		△115	
流動資産合計	152,328	38.0	145,808	36.3	149,022	37.4
固定資産						
有形固定資産						
建物及び構築物	78,583		84,759		82,403	
工具器具備品	16,224		14,267		15,548	
土地	6,094		5,657		4,708	
建設仮勘定	1,570		1,385		1,594	
有形固定資産合計	102,472	25.6	106,069	26.4	104,255	26.2
無形固定資産	12,543	3.2	18,611	4.6	15,890	4.0
投資その他の資産						
投資有価証券	2,338		5,954		2,569	
長期貸付金	23,561		25,248		24,379	
差入保証金	88,494		83,539		87,903	
繰延税金資産	10,634		12,216		11,551	
再評価に係る繰延税金資産	3,330		467		467	
その他	9,100		6,481		6,234	
貸倒引当金	△4,446		△2,348		△4,018	
投資その他の資産合計	133,012	33.2	131,560	32.7	129,089	32.4
固定資産合計	248,029	62.0	256,241	63.7	249,235	62.6
資産合計	400,358	100.0	402,049	100.0	398,258	100.0

(単位：百万円)

科 目	前第3四半期 連結会計期間 (平成18年11月30日現在)		当第3四半期 連結会計期間 (平成19年11月30日現在)		前連結会計年度の 要約連結貸借対照表 (平成19年2月28日現在)	
	金 額	構成比	金 額	構成比	金 額	構成比
(負債の部)		%		%		%
流動負債						
買掛金	73,162		71,246		64,999	
加盟店借勘定	2,271		1,570		2,757	
未払金	12,244		10,820		16,017	
未払法人税等	4,414		7,949		4,754	
預り金	51,305		43,457		48,754	
賞与引当金	1,411		1,476		2,626	
ポイント引当金	534		755		500	
その他	4,661		5,280		3,102	
流動負債合計	150,006	37.5	142,557	35.5	143,513	36.0
固定負債						
退職給付引当金	3,401		3,900		3,526	
役員退職慰労引当金	217		168		249	
預り保証金	50,086		46,704		49,325	
長期リース資産減損勘定	104		362		95	
その他	479		2,054		2,053	
固定負債合計	54,289	13.5	53,190	13.2	55,250	13.9
負債合計	204,295	51.0	195,747	48.7	198,764	49.9
(純資産の部)						
株主資本						
資本金	58,506	14.6	58,506	14.6	58,506	14.7
資本剰余金	42,261	10.6	42,229	10.5	42,253	10.6
利益剰余金	96,079	24.0	103,231	25.7	95,344	24.0
自己株式	△847	△0.2	△656	△0.2	△738	△0.2
株主資本合計	196,000	49.0	203,311	50.6	195,366	49.1
評価・換算差額等						
その他有価証券評価差額金	455	0.1	220	0.1	319	0.1
繰延ヘッジ損益	—	—	8	0.0	—	—
土地再評価差額金	△4,854	△1.2	△682	△0.2	△682	△0.2
為替換算調整勘定	121	0.0	131	0.0	134	0.0
評価・換算差額等合計	△4,278	△1.1	△322	△0.1	△227	△0.1
新株予約権	71	0.0	151	0.0	78	0.0
少数株主持分	4,267	1.1	3,161	0.8	4,276	1.1
純資産合計	196,062	49.0	206,301	51.3	199,493	50.1
負債純資産合計	400,358	100.0	402,049	100.0	398,258	100.0

(2) 第3四半期 連結損益計算書

(単位：百万円)

科 目	前第3四半期 連結会計期間 (自 平成18年3月1日 至 平成18年11月30日)		当第3四半期 連結会計期間 (自 平成19年3月1日 至 平成19年11月30日)		前連結会計年度の 要約連結損益計算書 (自 平成18年3月1日 至 平成19年2月28日)	
	金 額	百分比 (%)	金 額	百分比 (%)	金 額	百分比 (%)
営業収入	156,716	73.4	163,844	71.8	207,195	73.2
加盟店からの収入の対象となる加盟店売上高は次のとおりであります。 前第3四半期 995,726百万円 当第3四半期 1,009,765百万円 前連結会計年度 1,311,479百万円 直営店売上高との合計額は次のとおりであります。 前第3四半期 1,052,039百万円 当第3四半期 1,073,412百万円 前連結会計年度 1,386,630百万円						
売上高	56,775	(100.0) 26.6	64,287	(100.0) 28.2	75,858	(100.0) 26.8
営業総収入	213,492	100.0	228,132	100.0	283,053	100.0
売上原価	41,361	(72.9)	46,607	(72.5)	55,370	(73.0)
売上総利益	(15,413)	(27.1)	(17,679)	(27.5)	(20,487)	(27.0)
営業総利益	172,130	80.6	181,524	79.6	227,682	80.4
販売費及び一般管理費	136,682	64.0	143,613	63.0	183,168	64.7
営業利益	35,448	16.6	37,910	16.6	44,513	15.7
営業外収益	1,092	0.5	1,217	0.5	1,679	0.6
営業外費用	902	0.4	1,309	0.5	1,546	0.5
経常利益	35,637	16.7	37,818	16.6	44,646	15.8
特別利益	295	0.1	—	—	1,288	0.4
特別損失	5,213	2.4	5,685	2.5	9,086	3.2
税金等調整前第3四半期(当期)純利益	30,719	14.4	32,133	14.1	36,848	13.0
法人税等	12,673	6.0	12,871	5.6	15,389	5.4
少数株主利益	500	0.2	410	0.2	476	0.2
第3四半期(当期)純利益	17,545	8.2	18,851	8.3	20,983	7.4

(3) 第3四半期 連結株主資本等変動計算書

前第3四半期連結会計期間 (自 平成18年3月1日 至 平成18年11月30日)

	株主資本					評価・換算差額等				新株 予約権	少数株主 持分	純資産 合計
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己株式	株主資本 合計	その他有 価証券評 価差額金	土地 再評価 差額金	為替換 算調整 勘定	評価・換 算差額 等合計			
平成18年2月28日 残高 (百万円)	58,506	41,520	88,355	△9,144	179,237	695	△4,854	105	△4,053	—	3,822	179,006
四半期変動額												
剰余金の配当 (注)			△4,602		△4,602							△4,602
剰余金の配当			△5,219		△5,219							△5,219
四半期純利益			17,545		17,545							17,545
自己株式の取得				△0	△0							△0
自己株式の処分		753		8,267	9,020							9,020
新株予約権の行使		△11		29	18							18
株主資本以外の 項目の四半期の 変動額 (純額)						△240		15	△224	71	445	292
四半期変動額 合計 (百万円)	—	741	7,723	8,297	16,762	△240	—	15	△224	71	445	17,055
平成18年11月30日 残高 (百万円)	58,506	42,261	96,079	△847	196,000	455	△4,854	121	△4,278	71	4,267	196,062

(注) 平成18年5月の定時総会における利益処分項目であります。

当第3四半期連結会計期間 (自 平成19年3月1日 至 平成19年11月30日)

	株主資本					評価・換算差額等					新株 予約権	少数株主 持分	純資産 合計
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己株式	株主資本 合計	その他有 価証券評 価差額金	繰延 ヘッジ 損益	土地 再評価 差額金	為替換 算調整 勘定	評価・換 算差額 等合計			
平成19年2月28日 残高 (百万円)	58,506	42,253	95,344	△738	195,366	319	—	△682	134	△227	78	4,276	199,493
四半期変動額													
剰余金の配当			△10,964		△10,964								△10,964
四半期純利益			18,851		18,851								18,851
自己株式の取得				△1	△1								△1
新株予約権の行使		△24		83	59								59
株主資本以外の 項目の四半期の 変動額 (純額)						△99	8		△2	△94	72	△1,115	△1,136
四半期変動額 合計 (百万円)	—	△24	7,886	82	7,944	△99	8	—	△2	△94	72	△1,115	6,807
平成19年11月30日 残高 (百万円)	58,506	42,229	103,231	△656	203,311	220	8	△682	131	△322	151	3,161	206,301

前連結会計年度の要約連結株主資本等変動計算書 (自 平成18年3月1日 至 平成19年2月28日)

	株主資本					評価・換算差額等				新株 予約権	少数株主 持分	純資産 合計
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己株式	株主資本 合計	その他有 価証券評 価差額金	土地再評 価差額金	為替換算 調整勘定	評価・換 算差額等 合計			
平成18年2月28日残高 (百万円)	58,506	41,520	88,355	△9,144	179,237	695	△4,854	105	△4,053	—	3,822	179,006
当連結会計年度中の 変動額												
剰余金の配当 (注)			△4,602		△4,602							△4,602
剰余金の配当			△5,219		△5,219							△5,219
当期純利益			20,983		20,983							20,983
自己株式の取得				△0	△0							△0
自己株式の処分		753		8,267	9,020							9,020
土地再評価差額金 取崩額			△4,172		△4,172							△4,172
新株予約権の行使		△19		139	119							119
株主資本以外の項目 の当連結会計年度中 の変動額 (純額)						△375	4,172	29	3,825	78	454	4,358
当連結会計年度中の 変動額合計 (百万円)	—	733	6,988	8,405	16,128	△375	4,172	29	3,825	78	454	20,486
平成19年2月28日残高 (百万円)	58,506	42,253	95,344	△738	195,366	319	△682	134	△227	78	4,276	199,493

(注) 平成18年5月の定時総会における利益処分項目であります。

(4) 第3四半期 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期 連結会計期間 (自 平成18年3月1日 至 平成18年11月30日)	当第3四半期 連結会計期間 (自 平成19年3月1日 至 平成19年11月30日)	前連結会計年度の 要約連結キャッシュ ・フロー計算書 (自 平成18年3月1日 至 平成19年2月28日)
	金額	金額	金額
営業活動によるキャッシュ・フロー			
税金等調整前第3四半期(当期)純利益	30,719	32,133	36,848
減価償却費	15,512	16,094	21,348
退職給付引当金の増加額	584	373	710
固定資産除却損	2,277	1,368	2,880
減損損失	1,649	2,316	1,810
受取利息	△447	△641	△650
その他の収益・費用の非資金分(純額)	△629	△135	2,187
売上債権の増加額	△2,576	△2,300	△947
未収入金の減少額(△：増加額)	2,402	5,544	△4,397
仕入債務の増加額	8,847	5,060	1,170
未払金の増加額(△：減少額)	△1,171	△5,197	2,602
預り金の増加額(△：減少額)	6,690	△5,297	4,140
預り保証金の減少額	△1,249	△2,621	△2,010
その他の資産及び負債の増減額(純額)	△601	823	△772
小計	62,008	47,523	64,919
利息の受取額	432	626	646
利息の支払額	△25	△19	△22
法人税等の支払額	△18,079	△10,892	△17,947
営業活動によるキャッシュ・フロー	44,336	37,237	47,596
投資活動によるキャッシュ・フロー			
有価証券の取得による支出	△48,583	△28,761	△57,193
有価証券の償還による収入	43,351	32,000	61,850
関係会社株式の取得による支出	—	△3,985	△335
少数株主からの株式取得による支出	—	△2,131	—
有形固定資産の取得による支出	△19,392	△15,835	△28,759
無形固定資産の取得による支出	△2,420	△6,238	△4,450
その他(純額)	△6,385	△1,434	△2,865
投資活動によるキャッシュ・フロー	△33,431	△26,386	△31,754
財務活動によるキャッシュ・フロー			
自己株式の処分による収入	9,020	—	9,020
配当金の支払額	△9,822	△10,964	△9,822
その他(純額)	△36	△8	64
財務活動によるキャッシュ・フロー	△837	△10,973	△736
現金及び現金同等物の増加額(△：減少額)	10,067	△121	15,106
現金及び現金同等物の期首残高	60,440	75,547	60,440
現金及び現金同等物の第3四半期末(期末)残高	70,508	75,425	75,547